

令和3年度 脇町地区地域福祉活動計画実行委員会 活動記録

(感染症を考慮しながら、ひとりひとりが取り組めることを発信し、住み慣れた地域で安心した暮らしができる地域づくりを目指す)

取り組み	活動の内容	評価・今後の取り組みに向けて
<p>つながり(支えあい)</p> <p>○ふれあいいきいきサロン 交流会の開催</p>  	<p>日時 令和3年10月6日(水)</p> <p>場所 地域交流センター小星園</p> <p>参加者 24サロン住民37名 実行委員他15名</p> <p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ●講話『フレイル予防・体操』 (講師:美馬市地域おこし協力隊 佐藤 大輔氏 新谷 旺也氏) ●各種推進・紹介 ・NPO法人全国コミュニティライフサポートセンター作成チラシ「コロナでいろいろ出来なくなったけれど…」の説明 ・不法投棄防止に向けて他地域の取組紹介 ●グループワーク・発表 ・不法投棄課題について ・意見交換 他  	<p>つながりの場、健康づくりの場など様々な役割のあるサロンが、コロナ禍で6割が活動休止しており、高齢者のフレイルの進行が益々不安な状況にあることから、『フレイル予防啓発』と『気軽に出来る体操メニュー紹介』を中心に交流会を開催した。グループワークでは、多くの地域で課題に挙がっている『不法投棄』について、実行委員会から情報を発信し、地域のリーダーとともに環境について考える機会を設けることができた。</p> <p>サロン活動に役立つメニューの紹介やフレイル予防のCD、DVD、チラシの配布等に取り組む。</p> <p>また、地域の課題を共有できる機会として、引き続き、交流会を継続するとともに、サロンのニーズに沿った推進・支援していくが課題である。</p>
<p>○小地域生活支援ネットワーク 情報交換会の開催</p> 	<p>日時 令和4年2月16日(水)</p> <p>場所 地域交流センター小星園</p> <p>参加者 小地域生活支援ネットワーク代表者</p> <p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ●講話『倉敷市社会福祉協議会活動報告』 (講師:倉敷市社会福祉協議会 主幹 松岡 武司氏) ●各種推進・紹介 第3次脇町地区地域福祉活動計画実行委員会取組について 小地域生活支援ネットワーク活動について ●グループワーク 	<p>新型コロナウイルス感染症で活動が制限される中、活動のヒントにとの思いを込めて、活発に活動をされている倉敷市社会福祉協議会の活動報告を企画したが、新型コロナウイルス感染症蔓延のため延期とする。</p> <p>小ネット活動に役立つ情報の紹介や先進地域の活動状況の発信などに取り組む。</p> <p>そして、住み慣れた地域で安心した暮らしができる地域づくりを目指していく必要がある。</p>
<p>(防災・防犯)(つながり)</p> <p>○あんしんカードの推進</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ●より一層カード活用を高めるために、啓発チラシを作成 (救急車を呼ぶ「もしも…」の時、災害時の安全と安心を守るために活用してほしい) ●関係者・関係機関と連携したカード啓発 ・令和3年9月21日(火)脇町地区民生委員児童委員定例会 ・令和3年10月6日(水)ふれあいいきいきサロン交流会 ・令和4年2月16日(水)小地域生活支援ネットワーク情報交換会 ・他各種サロン・通所介護事業所で紹介 <p>延期</p>  <p>コロナは密はダメだが 近所付き合いは密に</p> 	<p>美馬市では、高齢化率が約38%と全国平均約29%と比べ高い水準となっている。高齢者世帯や独居世帯も増加の傾向がある。</p> <p>今年度は、あんしんカード啓発チラシを作成し、民生委員児童委員定例会などで啓発を行った。</p> <p>いざという時の為だけでなく、支え合い(つながり)への意識づけにつながっている。</p> <p>今後も、防災・防犯、つながりの共通項目として、あんしんカードを周知・啓発・活用をしていく。</p>
<p>(環境)</p> <p>○ペットボトルキャップ回収運動</p>  	<ul style="list-style-type: none"> ●啓発物(回収運動ポスター、分別協力依頼)の作成と周知 ●集まったエコキャップの分別作業と換金 1回目 令和3年7月15日(木) 190kg 2回目 令和4年2月16日(水) 320kg ●車椅子購入 ●車椅子贈呈式 令和3年4月8日(木) ●各団体へ活動報告 令和3年7月吉日    	<p>キャップ以外の混入物は以前に比べると大幅に減少したが、実行委員による分別作業が必要な状況は続いている。</p> <p>購入できた車椅子は、社会福祉法人蓬萊会で活用いただくこととなった。</p> <p>また、ご協力頂いた団体などへ、お礼状と活動報告をすると共に再度、協力依頼も行った結果、幅広く浸透しエコ活動・環境保全が広がっている。</p> <p>R2年度478kg R3年度510kg</p> <p>エコキャップ回収を継続しながら、一人一人が「すべきこと・できること」を検討し、環境保全や社会貢献への住民の意識向上につなげていきたい。</p>
<p>(けんこう)</p> <p>○脇みちを歩こう 「ウォーキング大会」の開催 (ノルディックウォークの啓発)</p> 	<p>日時 令和3年11月28日(日)</p> <p>参加者 147名(ボランティア参加者含む)</p> <p>場所 うだつアリーナから別所大楠</p>   	<p>毎年恒例のウォーキング大会は、地域交流の場(機会)として、子どもから高齢者まで、世代を超えて楽しめるイベントになっている。</p> <p>今年度も、児童クラブ関係者、トイレ提供の企業等、多くのボランティアのおかげで、開催することができた。</p> <p>今後も、健康習慣を推進し、健康寿命を延ばし、元気な脇町を目指す。</p> <p>コロナ収束後は、より一層参加者を増やしていく。</p> 